

御挨拶

学校の隣にある国営備北丘陵公園の桜のつぼみはまだ固く、ほころび始める時期は、例年より遅くなりそうで、今年はことのほか厳しい冬であったことを改めて思います。その中でも風の香りの中に、春の訪れを感じています。

本校では4月6日に小学部2名、中学部4名、高等部26名の新入生を向かえ、平成24年度入学式を挙げる予定です。全校児童生徒数が81名になります。児童生徒全員が新年度の新しい学校生活に期待と不安を抱きながら、元気に登校してきてくれることを楽しみにしています。

庄原特別支援学校は広島県北部における唯一の特別支援学校として、授業改善に取り組みながら、専門性に基づく教育活動を行い、児童生徒の自立と社会参加を目指した教育を進めていきたいと考えます。

平成24年度学校経営計画ビジョン（使命の追求を通じて実現しようとする自校の将来像）に「育てたい子ども像」を次のように示しました。

知：学習活動をとおして、自から学び伸びようとする子ども。

徳：人との関わりの中で、他者を尊重する心を持つ子ども。

体：健康で安全に生活できる知識と体力を身につけた子ども。

言語活動：理解できる言葉を多く持ち、自分の意思を伝えるスキルを身につけている子ども。

このような児童生徒に育てていくよう、教育課程、年間指導計画、学校経営計画の目標設定等を改善するよう研究を進めてきました。

また、平成21年度より配置されている専任の教育相談主任を中心に、地域の小学校、中学校、高等学校等への支援体制を充実させ、さらに共同研究等を試行しながら、地域のセンター的役割を果たすよう努力してまいります。

さらに、看護師、理学療法士、作業療法士、ジョブサポートティーチャー等の専門職を配置し、児童生徒の発達段階・障害特性に応じた教育内容の充実を図り、さらなる授業改善に取り組んでまいります。

教職員は一丸となって教育活動に邁進して行く所存です。皆様の御理解・御支援を賜りたいと存じます。よろしく願いいたします。

平成24年4月



広島県立庄原特別支援学校
校長 東内 桂子